作成日 2013/02/06
改訂日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ハチハチ乳剤
会社名	大塚アグリテクノ株式会社
住所	東京都千代田区神田司町２－２
担当部門	品質保証室
電話番号	088-684-0220
FAX番号	088-686-7055
緊急連絡電話番号	03-5297-2234(事業推進部)
整理番号	OAT0108-9
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性
急性毒性(経口) 区分3
急性毒性(吸入:ミスト) 区分3
皮膚腐食性／刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2A
生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(単回暴露)区分1(全身性)
特定標的臓器毒性(反復暴露) 区分1(肝臓 膵臓 生殖器)
特定標的臓器毒性(反復暴露、吸入) 区分1(骨髄 脾臓 呼吸器 副腎 腎臓)

環境に対する有害性
水生環境有害性(急性) 区分1
水生環境有害性(慢性) 区分1

＊上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H301+H331 飲み込んだり吸入すると有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激
H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H370 臓器の障害
H372 長期又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、骨髄、腎臓、副腎、脾臓、膵臓、生殖器の障害
H400 水生生物に非常に強い毒性
H410 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

安全対策注意書き
使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手および眼を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
指定された個人用保護具を使用すること。(P281)

応急措置

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で優しく洗うこと。(P302+P352)
吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
暴露した場合、医師に連絡すること。(P307+P311)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
特別な処置が必要である。(P321)
口をすすぐこと。(P330)
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362)
漏出物は回収すること。(P391)

保管

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　　混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS番号
		化審法	安衛法	
4-クロロ-3-エチル-1-メチル-N-[4-(p-トリルオキシ)ベンジル]ピラゾール-5-カルボキサミド(トルフェンピラド)	15%	―	8-(2)-1836	129558-76-5
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸カルシウム塩	2.9%	(3)-1884	―	26264-06-2
2ーエチルヘキサノール	1.9%	(2)-217	―	104-76-7
Nーメチルー2ーピロリドン	13%	(5)-113	8-(1)-1013	872-50-4
メチルナフタレン	1.6%	(4)-80	―	1321-94-4
有機溶剤・界面活性剤等	残量	―	―	―

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぐこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐き出さずに、直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災：散水、噴霧水、一般の泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、燃焼させておく。 容器内に水を入れてはいけない。 到着した消防署員や警察官に本品があることを知らせる。 鎮火後には本品や消化液が河川等に流入しないよう処置をする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	関係者以外の立入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 低地から離れる。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 風上に留まる。
環境に対する注意事項	周辺の池や河川に流入しないように注意する。
回収・中和	乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。
封じ込め及び浄化方法・機材	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 容器内に水を入れてはいけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取扱い	局所排気・全体換気	情報なし。
	安全取扱い注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 排気用の換気を行うこと。 眼に入れないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 環境への放出を避けること。
保管		
	技術的対策	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
	保管条件	酸化剤から離して保管する。 施錠して保管すること。 容器を密閉してなるべく低温の換気の良い場所で保管すること。
	容器包装材料	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度（厚生労働省）	許容濃度（産業衛生学会）	ACGIH
1，1’－ビフェニル	－	－	TWA 0.2ppm, STEL –
N－メチル－２－ピロリドン	－	1ppm(4mg/m3)(皮)	－

設備対策		この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 工程の密閉化、局所排気その他の設備対策を使用する。 高熱取扱いで、工程でミストまたはガスが発生するときは、換気装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	必要に応じて個人用保護手袋を使用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。 必要に応じて個人用の保護衣を使用すること。
衛生対策		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	透明液体
	色	黄色
	pH	5.5～7.5
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
比重（密度）		1.03～1.05（20℃）

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の保管条件では安定。
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	ラット経口 LD50 ♂102 mg/kg ♀83 mg/kg ラット経皮LD50 ♂♀>2000 mg/kg ラット吸入 LC50 ♂♀0.542 mg/L
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ 中程度の刺激性
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	ウサギ 中程度の刺激性
生殖毒性	区分2に分類されるトルフェンピラドおよびN-メチル-2-ピロリドンをカットオフ値以上含有することから区分2とした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分1（全身性）に分類されるトルフェンピラドをカットオフ値以上含有することから区分1（全身性）とした。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（肝臓、膵臓、生殖器）に分類されるトルフェンピラドをカットオフ値以上含有することから区分1（肝臓、膵臓、生殖器）とした。
特定標的臓器毒性（反復暴露、吸入）	区分1（骨髄、脾臓、肝臓、呼吸器、副腎、腎臓）に分類されるN-メチル-2-ピロリドンをカットオフ値以上含有することから区分1（骨髄、脾臓、肝臓、呼吸器、副腎、腎臓）に分類した。

12. 環境影響情報

環境に対する有害性

生態毒性	コイ LC50（96hr） 0.0449 mg/L オオミジンコ EC50（48hr） 0.008 mg/L 藻類 EbC50（0-72hr） 1.36 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	直接排水や河川等に廃棄してはならない。汚染廃液は、湖、河川及び池に流入するおそれのある場所に保管しない。 廃棄する場合は、木粉（おがくず）等に吸収させて、スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。スクラバーの洗浄液には水酸化ナトリウム水溶液を用いる。
汚染容器及び包装	使用後の空き容器は他の用途に使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	6.1
国連番号	2902
品名（国際輸送品名）	その他の殺虫殺菌剤類（液体）（毒性のもの）（他に品名が明示されているものを除く。）
緊急時応急措置指針番号	151

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号　第20818号
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第１種指定化学物質（法第２条第２項、施行令第１条別表第１）

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。） 政令番号:30
メチルナフタレン 政令番号:438
4－クロロ－3－エチル－1－メチル－N－[4－(p-トリルオキシ)ベンジル]ピラゾール－5－カルボキサミド（別名トルフェンピラド） 政令番号:92

毒物及び劇物取締法	劇物（指定令第2条）
消防法	第4類 第三石油類（非水溶性）
化審法	第2種監視化学物質（法第2条第5項）を含む
船舶安全法	毒物類・毒物
航空法	毒物類・毒物

16. その他の情報

本品を盗難等で紛失した場合には、速やかにその旨を最寄りの警察署及び製造業者に連絡する。

参考文献

トルフェンピラド農薬抄録
MSDSnavi
（日本ケミカルデータベース株式会社, 2011）

その他

責任の限定について
製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考情報として、当該化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格値や品質を保証する数値ではありません。
この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、当該化学製品に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該化学製品の一般的な取り扱いについて記載したものです。従いまして、当該化学製品を取り扱う事業者は、個々の取り扱い等の実情に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いします。